

校長室の窓から 58

070530 ホットなお茶で「ほっ」と

5年の児童が、家庭科の時間にお茶を入れて持ってきてくれました。

家庭科の学習を始めたばかりの5年生。家庭科のスタートでは、まず自分の家庭生活を見つめ、家族とのふれあいの時間を工夫する学習を行います。このお茶をいれる実習はその学習の一環です。

家庭科室のガスコンロでお湯を沸かすのも、きっと初めての経験だったことでしょう。最近はIHコンロの家庭が増え、ガスコンロに炎をつける経験が全くない児童もいます。

お茶には、手紙も添えられていました。

『少しでも先生に「ほっ」としていただけたらうれしいです。』とのこと。

自分が家庭科の授業を受け持っていたときには、このような丁寧な指導をしてこなかったなあと、過去を悔やみたくなりました。このように、折にふれ感謝の心を涵養してくださっている担任の先生、本当にありがとうございます。

5年1組児童の笑顔いっぱいの写真がとってもうれしくて、すっごく「ほっ」としましたよ。

愛と信の仲よし

中太閤山小学校長 堀かおり

